



会社名 株式会社 TOKAI ホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 鵜田 勝彦  
 (コード番号 3167 東証第 1 部)  
 問合せ先 執行役員 広報部・IR室担当 谷口 芳浩  
 (TEL. 054-273-4878)

## 平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算について

～顧客獲得費用等の先行コストにより減益も、収益基盤の拡大は順調に進捗～

当社は、本日、平成 30 年 3 月期 第 2 四半期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の決算を発表しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 顧客件数は期首から 26 万件の大幅増

当社は、本年 5 月に第 3 次中期経営計画「Innovation Plan 2020 “JUMP”」と、その達成に向けた成長戦略を公表しました。従来から事業テーマとする継続取引顧客の増加、TLC（トータルライフコンシェルジュ）構想に基づく複数化取引の推進、営業エリアの拡大等に加え、4 年間で総額 1,000 億円の M&A 及びアライアンス投資を積極的に展開していくことにより、計画の最終年度となる平成 32 年度には、顧客件数・売上高・営業利益をそれぞれ平成 28 年度実績対比で概ね 2 倍とする計画です。

当第 2 四半期において、中期計画の達成に向け、収益基盤である顧客件数の拡大を目的として先行コストを投じ積極的な営業活動に取り組んだ結果、第 2 四半期末における継続取引顧客件数は 2,827 千件と、平成 29 年 3 月末から 263 千件増加（10.3%増）し、収益基盤が拡大しました。

東京ベイネットワークの M&A を前倒して実施したことにより期初の社内顧客件数計画を上振れ、また、M&A を除く既存事業の純増数も平成 28 年度 1 年間における顧客件数純増数の 2 倍強のペースで進捗しました。

主なサービス別の顧客件数純増数は、ガス（LP・都市ガス）顧客が 6,149 件（前年同期は 227 件の純減）、CATV 顧客が東京ベイネットワークの M&A 効果等も加わり 261,353 件（前年同期は 11,682 件の純増）、アクア顧客が 6,057 件（前年同期は 1,503 件の純増）となり、情報通信顧客も、平成 29 年 2 月より開始した MVNO サービス「LIBMO」の新規顧客獲得が寄与して、前年同期から約 4 割減の純減水準に抑制しました。

#### 2. 収益基盤拡大を目指して先行コストを投じ積極的な営業活動を展開

当第 2 四半期の業績は、想定どおり新規顧客獲得や解約防止コストが増加したことにより、営業利益が 31 億円と前年同期比 13 億円（29%減）の減益となりましたが、顧客件数の増加に、東京ベイネットワークの M&A 効果等も加わり、売上高が 849 億円と前年同期比 27 億円（3.3%増）の増収となりました。

なお、期初の連結業績予想に対しては、CATV 事業や法人向け通信事業が想定以上に好調であり、営業利益が4億円上振れた着地となりました。

(単位:百万円)

	当期実績 (平成 29.4.1～平成 29.9.30)	前年同期実績 (平成 28.4.1～平成 28.9.30)	業績予想 (平成 29.4.1～平成 29.9.30)	前年同期比	業績予想比
売上高	84,911	82,201	86,000	+2,709	△1,089
営業利益	3,114	4,406	2,710	△1,291	+404
経常利益	3,143	4,428	2,650	△1,284	+493
四半期純利益	1,246	2,384	1,080	△1,137	+166
1株当たり利益	9.76円	21.00円	8.52円	△11.24円	+1.24円

### 3. 財務体質の改善が引続き進捗

財務面においては、四半期純利益の計上や、転換社債の転換が進んだことにより、自己資本比率が前期末の34.5%から1.5pts向上して36.0%に向上しました。

先行コストを注ぎ込んで積極的な顧客基盤拡大を行っていることから、フリーキャッシュフローが前年同期に比べてマイナスとなりましたが、転換社債の転換により有利子負債残高は期首から微増にとどまっています。有利子負債/EBITDA 倍率も、2.0倍と前期並みの水準を維持しています。

### 4. 平成30年3月期の連結業績予想と配当予想

平成29年5月9日付けで公表した今期の連結業績予想は、将来の成長に向けて収益基盤の拡大を図るべく、LPガス事業のエリア拡大、情報通信における新サービスの販促、リテール顧客の解約防止等の先行費用他を織り込み、前期比13億円の減益となる営業利益114億円を見込みましたが、現時点において、平成30年3月期の連結業績予想及び配当予想に変更はありません。

なお、年間配当金は28円(平成29年3月期は28円のうち記念配当6円)を維持する計画です。

(単位:百万円)

	通期業績予想 (平成 29.4.1～平成 30.3.31)	前期実績 (平成 28.4.1～平成 29.3.31)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	189,400	178,631	+10,769	+6.0%
営業利益	11,410	12,750	△1,340	△10.5%
経常利益	11,360	12,775	△1,415	△11.1%
当期純利益	6,450	7,337	△887	△12.1%
1株当たり当期純利益	50.88円	64.46円	△13.58円	△21.1%

	平成30年3月期(予想)	平成29年3月期
第2四半期末	14.00円	11.00円
期末	14.00円	17.00円
年間配当金合計	28.00円	28.00円
配当性向(連結)	55.0%	43.4%

(注) 平成29年3月期期末配当の内訳;普通配当11.00円、記念配当6.00円

詳細につきましては、別添の「第2四半期決算について」資料をご参照ください。

また、平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信は、以下の URL をご参照ください。

<http://tokaiholdings.co.jp/ir/library/earnings.html>

以 上

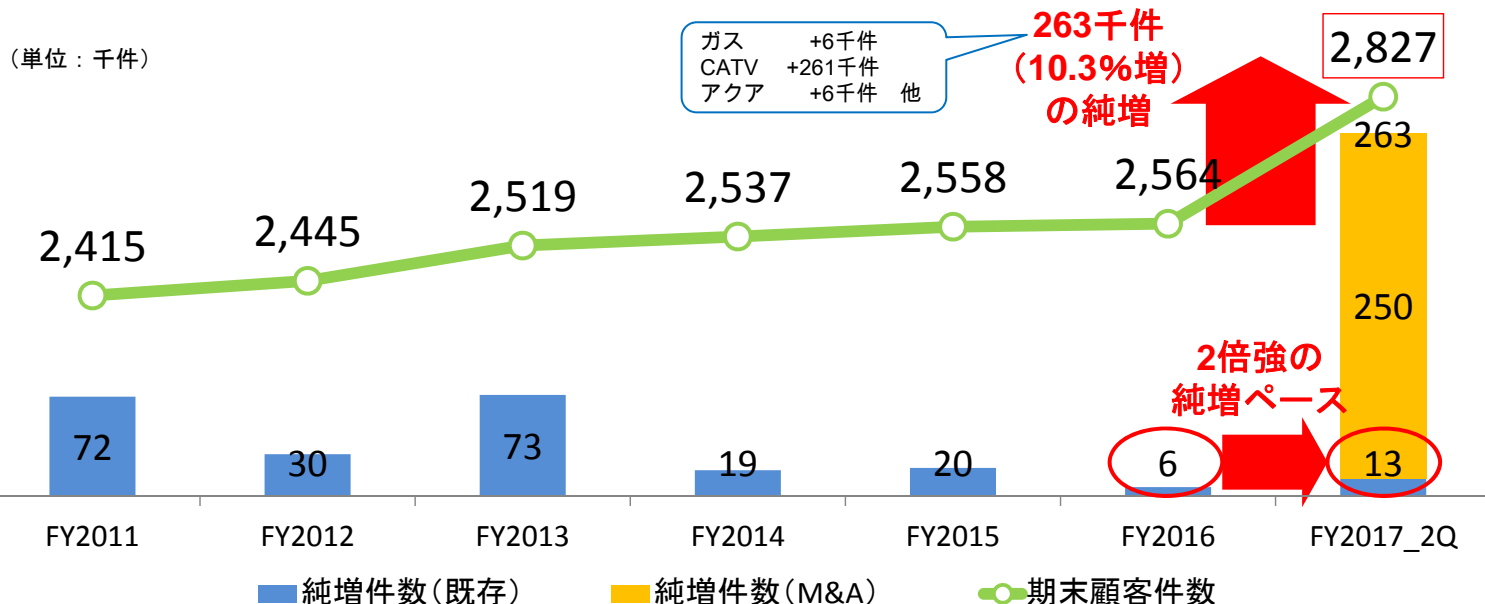
# 第2四半期決算について

株式会社TOKAIホールディングス  
(証券コード:3167)

平成29年10月31日

## 顧客件数は期首から26万件の大幅純増

- ◎ M&Aを除く既存部分の純増数も前期の年間6千件に対し、半期で13千件と2倍強のペース。
- ◎ 東京ベイネットワークのM&Aを期初計画より前倒し実施したことにより上振れ。
- ◎ 第3四半期以降の月次課金件数増加による収益増に繋がる成果。



# 中間期の増収減益は想定どおり

- ◎ 売上高は、東京ベイネットワークのM&A効果(7億円)等も加わり前期比27億円(3.7%増)の増収。
- ◎ 利益面は、新規顧客獲得、新サービス投入などの先行コストほかを20億円掛けたことによる減益だが、顧客基盤は期初の計画を上振れ、かつ、期初の業績予想に対しても、CATV事業や法人向け通信サービス事業が好調で、4億円(14.9%増)の上振れ。

(売上高・利益:百万円、1株当たり利益:円)

	当期実績	前年同期	当初予想	前年同期比		当初予想比	
				増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
売上高	84,911	82,201	86,000	+2,709	+3.3	△1,089	△1.3
営業利益	3,114	4,406	2,710	△1,291	△29.3	+404	+14.9
経常利益	3,143	4,428	2,650	△1,284	△29.0	+493	+18.6
四半期純利益	1,246	2,384	1,080	△1,137	△47.7	+166	+15.4
1株当たり利益	9.76	21.00	8.52	△11.24	△53.5	+1.24	+14.6

2

## 自己資本強化を背景に成長投資を展開

- ◎ 転換社債の転換の進捗、四半期純利益の積上げにより、自己資本比率が向上。
- ◎ フリーキャッシュフローは、新規顧客獲得、新サービス投入などの先行コストほか20億円、東京ベイネットワークM&A12億円などの拡大投資を積極的に実施。
- ◎ 有利子負債/EBITDA倍率は、依然2.0倍の水準を維持。

自己資本比率	<b>34.5%</b> 2017年3月末	➡	<b>36.0%</b> 2017年9月末
有利子負債残高	<b>541</b> 億円 2017年3月末	➡	<b>550</b> 億円 2017年9月末
営業キャッシュフロー	<b>120</b> 億円 2016年9月期	➡	<b>79</b> 億円 2017年9月期
投資キャッシュフロー	<b>△47</b> 億円 2016年9月期	➡	<b>△69</b> 億円 2017年9月期
フリーキャッシュフロー	<b>74</b> 億円 2016年9月期	➡	<b>10</b> 億円 2017年9月期
有利子負債/EBITDA倍率	<b>2.0</b> 倍 2017年3月期	➡	<b>2.0</b> 倍 2017年9月期

3

# 通期の連結業績予想

◎ 平成30年3月期の業績予想は、将来の成長に向けて収益基盤拡大を図るべく、エリア拡大、情報新サービスの販促、リテール顧客の解約防止等の先行費用他を織込み、前期比13億円の減益を見込む。

◎ 現時点で通期連結業績予想(平成29年5月9日公表)に変更なし。

(単位:百万円)

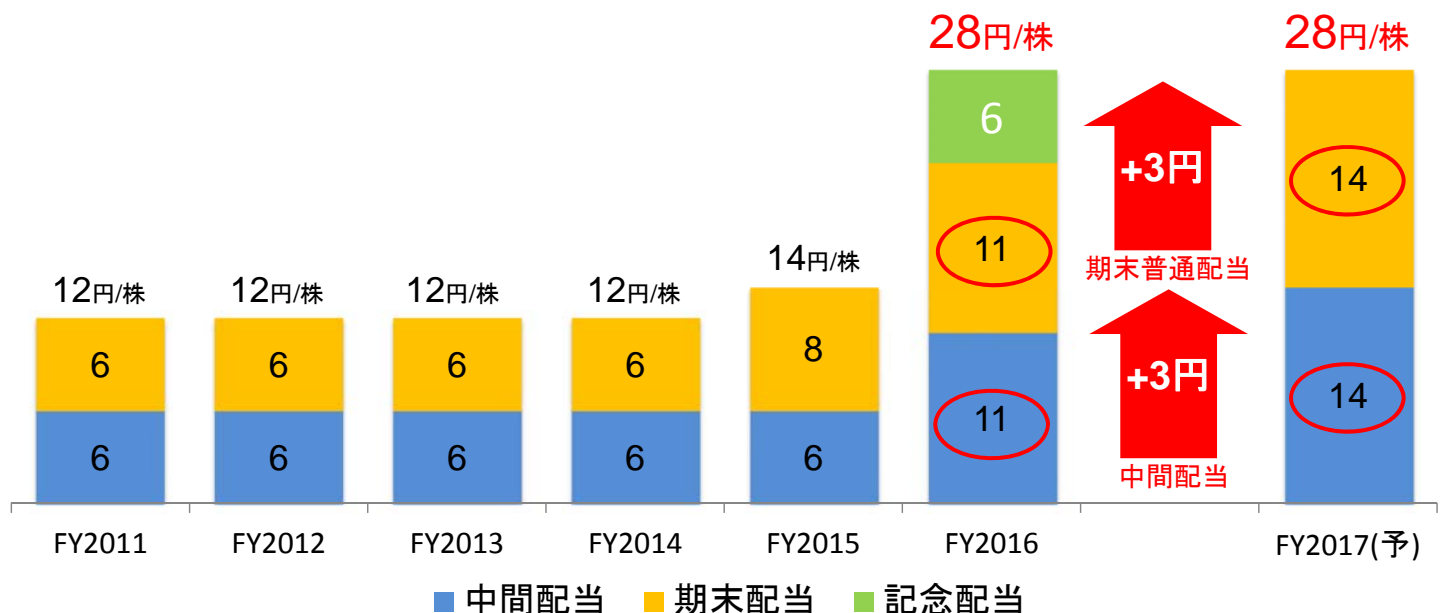
	当期予想 (平成29.4.1～平成30.3.31)	前期実績 (平成28.4.1～平成29.3.31)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	189,400	178,631	+10,769	+6.0%
営業利益	11,410	12,750	△1,340	△10.5%
経常利益	11,360	12,775	△1,415	△11.1%
当期純利益	6,450	7,337	△887	△12.1%
1株当たり利益	50.88円	64.46円	△13.58円	△21.1%

4

# 配当予想

◎ 中間配当は14円/株で前年中間配当11円/株に対し3円の増配。

◎ 期末配当は期初予想の14円に変更なし。前期の年間28円を維持(前期の期末配当17円/株には記念配当6円を含んでおり普通配当は11円/株)。



5

# Appendix

- (1)連結業績
- (2)セグメント別売上高
- (3)セグメント別営業利益
- (4)連結財務指標
- (5)連結キャッシュフロー
- (6)グループ顧客件数

## (1) 連結業績

(単位:百万円)

	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績
売上高	83,610	84,315	87,274	84,773	82,201	84,911
営業利益	2,573	411	1,816	1,856	4,406	3,114
経常利益	2,155	303	1,585	1,779	4,428	3,143
四半期純利益	331	△354	225	277	2,384	1,246
1株当たり純利益	3.32 円	△3.10 円	1.96 円	2.39 円	21.00 円	9.76 円

## (2) セグメント別売上高

(単位:百万円)

	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績
ガス・石油	42,600	41,846	42,754	37,958	32,496	32,777
情報・通信	18,488	18,868	19,546	20,425	23,750	24,906
CATV	11,840	12,049	12,144	12,212	12,560	13,607
建築・不動産	6,541	7,250	8,197	9,301	8,040	8,349
アクア	1,929	2,102	2,423	2,746	2,929	3,055
その他	2,211	2,196	2,207	2,128	2,423	2,214
合計	83,610	84,315	87,274	84,773	82,201	84,911

8

## (3) セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績
ガス・石油	1,812	1,173	2,028	2,661	2,838	1,562
情報・通信	2,629	1,958	2,389	1,086	1,910	1,541
CATV	834	904	843	968	1,451	1,769
建築・不動産	69	249	143	347	324	388
アクア	△393	△1,318	△979	△616	201	135
その他・調整額	△2,379	△2,556	△2,608	△2,590	△2,318	△2,282
合計	2,573	411	1,816	1,856	4,406	3,114

※数値は間接費用等配賦前ベース

9



## (4) 連結財務指標

(単位:百万円)

	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績
資産合計	171,914	168,296	164,477	160,237	153,384	160,497
負債合計	144,911	134,983	125,521	117,722	109,380	101,674
純資産合計	27,002	33,313	38,956	42,514	44,004	58,822
有利子負債残高	100,715	90,487	80,930	76,253	65,761	55,019
E B I T D A	11,288	9,170	10,495	10,231	12,217	10,764
自己資本比率	15.2 %	19.3 %	23.1 %	25.9 %	28.2 %	36.0 %

10

## (5) 連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績
営業活動による キャッシュフロー	12,533	10,043	11,476	4,412	12,039	7,888
投資活動による キャッシュフロー	△4,657	△5,049	△4,515	△5,289	△4,668	△6,931
フリー キャッシュフロー	7,876	4,993	6,961	△876	7,370	957
財務活動による キャッシュフロー	△7,717	△6,378	△8,021	236	△8,833	△1,427

11

## (6) グループ顧客件数

(単位:千件)

		2012年 2Q実績	2013年 2Q実績	2014年 2Q実績	2015年 2Q実績	2016年 2Q実績	2017年 2Q実績
ガス(LP・都市ガス)		635	629	626	627	634	648
情報 通信	従来型ISP等	785	841	861	742	565	504
	光コラボ	—	—	—	117	272	315
	モバイル	202	221	231	234	234	231
	小計	986	1,062	1,093	1,093	1,071	1,050
CATV		686	693	690	698	722	995
アクア		102	120	132	132	135	141
セキュリティ		20	19	18	18	17	17
合計		2,405	2,498	2,535	2,543	2,554	2,827

※千件未満四捨五入。情報通信とCATVで通信サービスが重複、合計値からは除外。

12

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス IR室  
〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8  
TEL:(054)275-0007  
FAX:(054)275-1110  
<http://tokaiholdings.co.jp>  
e-mail: hd-info@tokaigroup.co.jp

うれしいをつなぐ。ひろげる。

